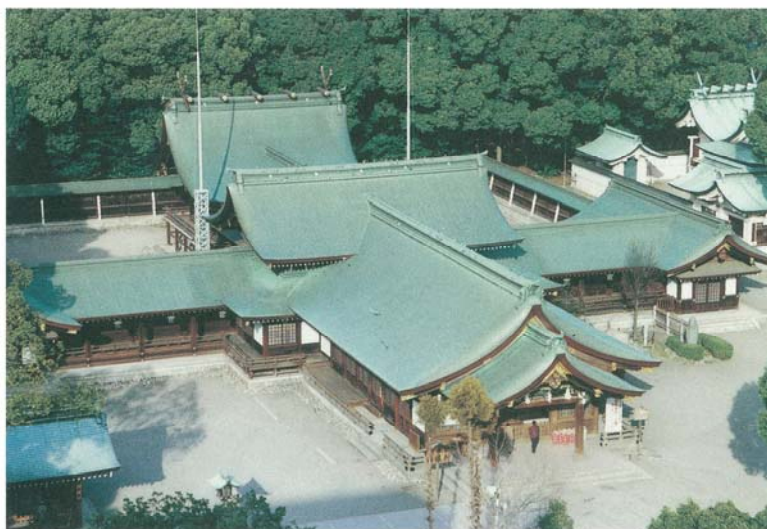


中小企業景況調査報告書

平成30年度第3・四半期（10～12月）

真清田神社



Masumida Shrine

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- ・ 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- ・ 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- ・ 調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・ 調査対象企業数 100事業所。

- ・ 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

（1）景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
（繊維製造業）	（49）
（その他製造業）	（12）
卸売業	11
小売業	11
サービス業	10
合 計	100

（2）繊維製造業対象事業所（49）の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	10
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	49

- ・ 分析方法
 1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・ 分析項目
 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前期比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- ・ その他の分析
 1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は、緩やかな回復基調が続いている。

1 . 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、採算、資金繰りのDI 値で前期実績を上回り、売上、従業員のDI 値で前期実績を下回った。

来期は、採算、従業員のDI 値で今期実績を上回り、業況、売上、資金繰りのDI 値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 8.0 から 4.0 (4.0 ポイント増) となり、来期は 6.0 (2.0 ポイント減) となる見通し。

売上DI 値は、前期実績 4.0 から 2.0 (2.0 ポイント減) となり、来期は 0.0 (2.0 ポイント減) となる見通し。

採算DI 値は、前期実績 12.0 から 11.0 (1.0 ポイント増) となり、来期は 10.0 (1.0 ポイント増) となる見通し。

資金繰りDI 値は、前期実績 2.0 から 1.0 (1.0 ポイント増) となり、来期は 5.0 (4.0 ポイント減) となる見通し。

従業員DI 値は、前期実績 2.0 から 3.0 (5.0 ポイント減) となり、来期は 1.0 (2.0 ポイント増) となる見通し。

繊維製造業の状況

今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で、前期実績を下回った。

来期は、売上、従業員のDI 値で、今期実績を上回り、業況、採算、資金繰りのDI 値で、今期実績を下回る見通し。

2 . 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を上回った。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 12.0 から 9.0 (3.0 ポイント増) となった。

売上DI 値は、前期実績 9.0 から 0.0 (9.0 ポイント増) となった。

資金繰りDI 値は、前期実績 6.0 から 1.0 (5.0 ポイント増) となった。

繊維製造業の状況

今期(表 9、10 参照)は、業況、資金繰りのDI 値で、前期実績横ばい、売上のDI 値で、前期実績を下回った。

3 . 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(33 件、21 事業所)に比べ、件数、事業所数ともに増加している。

今期の実績(表 4、6 参照)は 51 件(31 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』17 件、『O A 機器』10 件、『付帯施設』7 件となっている。

来期の計画(表 4、6 参照)は 37 件(25 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』13 件、『O A 機器』9 件、『車両・運搬具』5 件となっている。

4 . 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『仕入等単価の上昇』、『従業員の確保難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業 <燃系>）

7月から9月は冬物の繁忙期であったが、これからは夏物となるため受注減少見込み。最低賃金も上がり、原材料も高止まり状態で利益を圧迫している。加工賃の値上げを交渉しているが難しい。

B 社（製造業 <織物>）

業界全体は好調な推移にあり、当社も好調である。ただ、今年は暖冬が予想され、来期の需要の伸びは予断を許さない状況である。

C 社（製造業 <織物>）

外注先の廃業等により産地の分業体制が維持できなくなりつつあり、納期遅れが深刻化している。当社の業績は、上期（4月～9月）は順調に推移したが、下期（10月～翌3月）は減益の見通し。

D 社（製造業 <染色整理加工>）

ボイラー等を使用するため、最近の原油価格高騰は収益面に大きな影響を受けている。加えて、10月に染料が値上げされたことが業況悪化の原因となっている。今年は暖冬のようなので、秋冬製品が売れ残り、来年の受注に影響が出るのではと危惧している。

E 社（製造業 <食品>）

燃料である重油の仕入単価が上昇している。また、直接取引から問屋経由となった取引先があり売上が落ち込んだが、他の取引先でカバーできており全体では横ばいである。

F 社（製造業 <印刷>）

ペーパーレス化、原材料の高騰の影響により収益はますます厳しさを増しているが、売上を伸ばすことに注力していく。特に、新規顧客獲得に集中したい。

G 社（卸売業 <婦人服>）

既存取引先への販売は継続でき、かつ新規取引先の開拓が奏功し売上は増加しており、忙しい状況が続いている。

H 社（卸売業）<容器>

今夏の猛暑、台風等の影響によるイベントの中止が大きく響き、売上は大幅に減少し厳しい状況である。

I 社（小売業）<文具>

少子高齢化、ネット販売の台頭、地域産業の衰退による取引先事業所数の減少等当社を取り巻く環境には厳しいものがある。当社も例外的でなく、小売部門は厳しさを増すばかりであるため、販路開拓や拡大、新規顧客の獲得が見込める卸部門に力を注いでいる状況である。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H29. 10～12月	H30. 1～3月	H30. 4～6月	H30. 7～9月	今 期 H30. 10～12月	来期の見通し H31. 1～3月
業 況	▲26.0	▲22.0	▲ 5.1	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 6.0
売 上	▲21.0	▲30.0	▲ 4.0	4.0	2.0	0.0
採 算	▲33.0	▲27.0	▲ 6.1	▲12.0	▲11.0	▲10.0
資金繰り	▲13.0	▲14.0	▲ 7.1	▲ 2.0	▲ 1.0	▲ 5.0
従 業 員	▲ 5.0	▲ 7.0	6.1	2.0	▲ 3.0	▲ 1.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H29. 10～12月	H30. 1～3月	H30. 4～6月	H30. 7～9月	今 期 H30. 10～12月	来期の見通し H31. 1～3月
業 況	▲38.8	▲38.8	4.2	0.0	▲ 6.1	▲14.3
売 上	▲32.7	▲46.9	8.3	6.1	▲18.4	▲16.3
採 算	▲44.9	▲36.7	▲ 4.2	▲ 6.1	▲12.2	▲14.3
資金繰り	▲18.4	▲20.4	▲ 8.3	2.0	▲ 4.1	▲ 6.1
従 業 員	▲ 4.1	▲ 8.2	▲ 2.1	4.1	▲ 8.2	▲ 2.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (2)	11 (10)	0 (0)	1 (3)	2 (2)	16 (17)	▲ 4.0 (▲6.0)
	不変	5 (4)	35 (35)	10 (8)	9 (7)	5 (6)	64 (60)	
	悪化	0 (1)	15 (16)	1 (3)	1 (1)	3 (2)	20 (23)	
売上	増加	2 (3)	13 (9)	4 (2)	4 (5)	5 (3)	28 (22)	2.0 (0.0)
	不変	5 (2)	25 (36)	6 (7)	6 (5)	4 (6)	46 (56)	
	減少	0 (2)	23 (16)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	26 (22)	
採算	好転	1 (2)	8 (6)	0 (0)	3 (2)	1 (1)	13 (11)	▲ 11.0 (▲10.0)
	不変	3 (3)	37 (42)	10 (9)	7 (8)	6 (6)	63 (68)	
	悪化	3 (2)	16 (13)	1 (2)	1 (1)	3 (3)	24 (21)	
資金繰り	好転	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	6 (4)	▲ 1.0 (▲5.0)
	不変	6 (5)	53 (52)	11 (11)	10 (10)	7 (9)	87 (87)	
	悪化	0 (1)	5 (6)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	7 (9)	
従業員	増加	0 (1)	9 (7)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	12 (9)	▲ 3.0 (▲1.0)
	不変	6 (6)	42 (47)	9 (10)	10 (10)	6 (8)	73 (81)	
	減少	1 (0)	10 (7)	1 (0)	1 (1)	2 (2)	15 (10)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	31	来期	計画している ※2	25
	(事業所数)	実施していない	69	(事業所数)	計画していない	75

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	1 件	5. 付帯施設	7 件	3 件
2. 工場建物	5 件	3 件	6. O A 機器	10 件	9 件
3. 生産設備	17 件	13 件	7. 福利厚生施設	3 件	2 件
4. 車両・運搬具	6 件	5 件	8. その他	1 件	1 件
複数回答可			合計	51 件	37 件

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (0)	3 (3)	2 (1)	0 (1)	3 (3)	10 (8)	▲ 6.1 (▲14.3)
	不変	2 (4)	12 (12)	5 (4)	2 (1)	5 (5)	26 (26)	
	悪化	2 (2)	7 (7)	3 (5)	1 (1)	0 (0)	13 (15)	
売上	増加	1 (1)	5 (2)	2 (1)	0 (0)	3 (3)	11 (7)	▲ 18.4 (▲16.3)
	不変	2 (3)	6 (13)	4 (5)	2 (1)	4 (5)	18 (27)	
	減少	3 (2)	11 (7)	4 (4)	1 (2)	1 (0)	20 (15)	
採算	好転	2 (1)	1 (2)	1 (0)	0 (0)	3 (3)	7 (6)	▲ 12.2 (▲14.3)
	不変	2 (3)	16 (13)	5 (6)	2 (3)	4 (5)	29 (30)	
	悪化	2 (2)	5 (7)	4 (4)	1 (0)	1 (0)	13 (13)	
資金繰り	好転	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	▲ 4.1 (▲6.1)
	不変	5 (5)	20 (20)	8 (8)	3 (2)	5 (5)	41 (40)	
	悪化	0 (0)	2 (2)	2 (2)	0 (1)	1 (1)	5 (6)	
従業員	増加	1 (2)	2 (2)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	5 (6)	▲ 8.2 (▲2.0)
	不変	4 (3)	17 (17)	7 (8)	1 (2)	6 (6)	35 (36)	
	減少	1 (1)	3 (3)	2 (2)	2 (0)	1 (1)	9 (7)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	11	来期	計画している ※2	14
	(事業所数)	実施していない	38	(事業所数)	計画していない	35

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	3 件	2 件	6. O A 機器	2 件	6 件
3. 生産設備	9 件	7 件	7. 福利厚生施設	0 件	1 件
4. 車両・運搬具	2 件	2 件	8. その他	0 件	1 件
			合計	17 件	20 件

複数回答可

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H29.10～12月	H30.1～3月	H30.4～6月	H30.7～9月	今 期 H30.10～12月
業 況	▲11.0	▲21.0	10.1	▲12.0	▲ 9.0
売 上	▲ 6.0	▲34.0	18.2	▲ 9.0	0.0
資金繰り	▲11.0	▲13.0	▲ 3.0	▲ 6.0	▲ 1.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	6	0	1	0	8	▲ 9.0
	不 変	6	40	10	10	9	75	
	悪 化	0	15	1	0	1	17	
売 上	増 加	3	14	5	6	2	30	0.0
	不 変	4	24	4	1	7	40	
	減 少	0	23	2	4	1	30	
資 金 繰 り	好 転	1	2	0	0	0	3	▲ 1.0
	不 変	6	55	11	11	10	93	
	悪 化	0	4	0	0	0	4	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H29.10～12月	H30.1～3月	H30.4～6月	H30.7～9月	今 期 H30.10～12月
業 況	▲18.4	▲30.6	20.8	▲16.3	▲16.3
売 上	▲22.4	▲46.9	37.5	▲16.3	▲26.5
資金繰り	▲14.3	▲20.4	▲ 2.1	▲ 4.1	▲ 4.1

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	0	2	1	0	3	6	▲ 16.3
	不 変	4	13	6	2	4	29	
	悪 化	2	7	3	1	1	14	
売 上	増 加	1	3	2	0	3	9	▲ 26.5
	不 変	3	8	2	2	3	18	
	減 少	2	11	6	1	2	22	
資 金 繰 り	好 転	0	0	0	0	2	2	▲ 4.1
	不 変	6	21	8	3	5	43	
	悪 化	0	1	2	0	1	4	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○従業員の確保難	○民間需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難 ○官公需要の停滞
繊維製造業	○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○人件費の増加
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○従業員の確保難	○製品ニーズの変化 への対応 ○需要の停滞
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難 ○仕入単価の上昇	○商品在庫の過剰 ○従業員の確保難
小売業	○仕入単価の上昇	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○販売単価の低下・ 上昇難
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加	○材料等仕入単価の 上昇

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	1
請負単価の低下・上昇難	5
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	2
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	14
熟練技術者の確保難	2
下請業者の確保難	3
官公需要の停滞	5
民間需要の停滞	6
その他 (働き方改革)	1
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	8
新規参入業者の増加	4
製品ニーズの変化への対応	24
生産設備の不足・老朽化	23
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	56
原材料の不足	4
人件費の増加	36
原材料費・人件費以外の経費の増加	10
製品(加工)単価の低下・上昇難	22
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	18
熟練技術者の確保難	21
需要の停滞	38
その他 (輸入品の増加)	3
合 計	270

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	9
生産設備の不足・老朽化	7
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	6
原材料の不足	0
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	3
製品(加工)単価の低下・上昇難	15
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	11
熟練技術者の確保難	1
需要の停滞	9
その他	0
合 計	69

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	5
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	5
需要の停滞	11
その他 (地元商店の廃業等による商圈の減少)	1
合 計	52

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	9
同業者の進出	2
購買力の他地域への流出	4
消費者ニーズの変化への対応	3
店舗の狭隘・老朽化	4
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	1
人件費の増加	1
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	11
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	4
需要の停滞	3
その他 (インターネット通販)	3
合 計	53

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	1
利用者ニーズの変化への対応	3
店舗施設の狭隘・老朽化	0
人件費の増加	11
人件費以外の経費の増加	3
利用料金の低下・上昇難	2
材料等仕入単価の上昇	4
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	16
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	3
その他	0
合 計	51

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

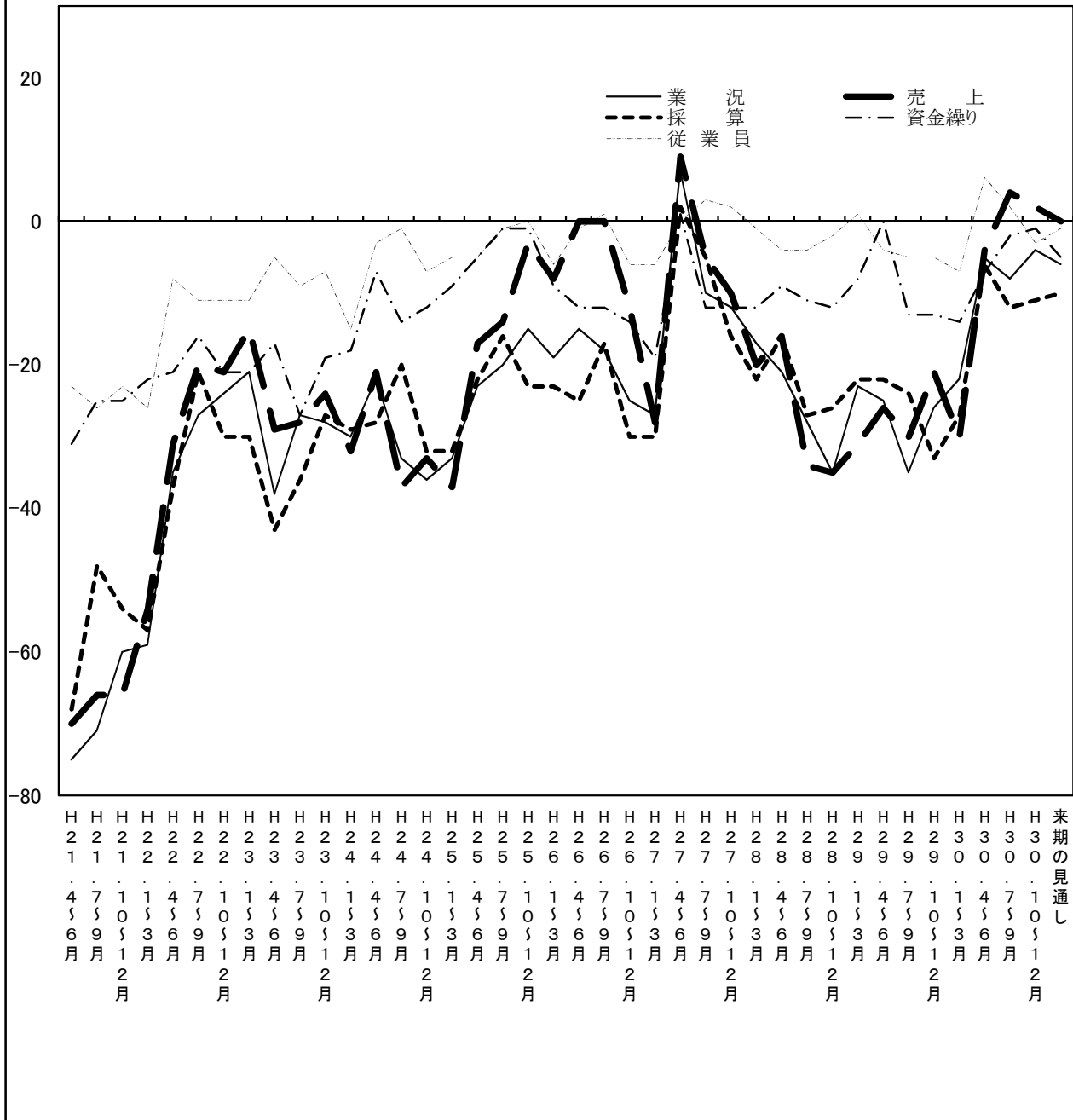


図 2

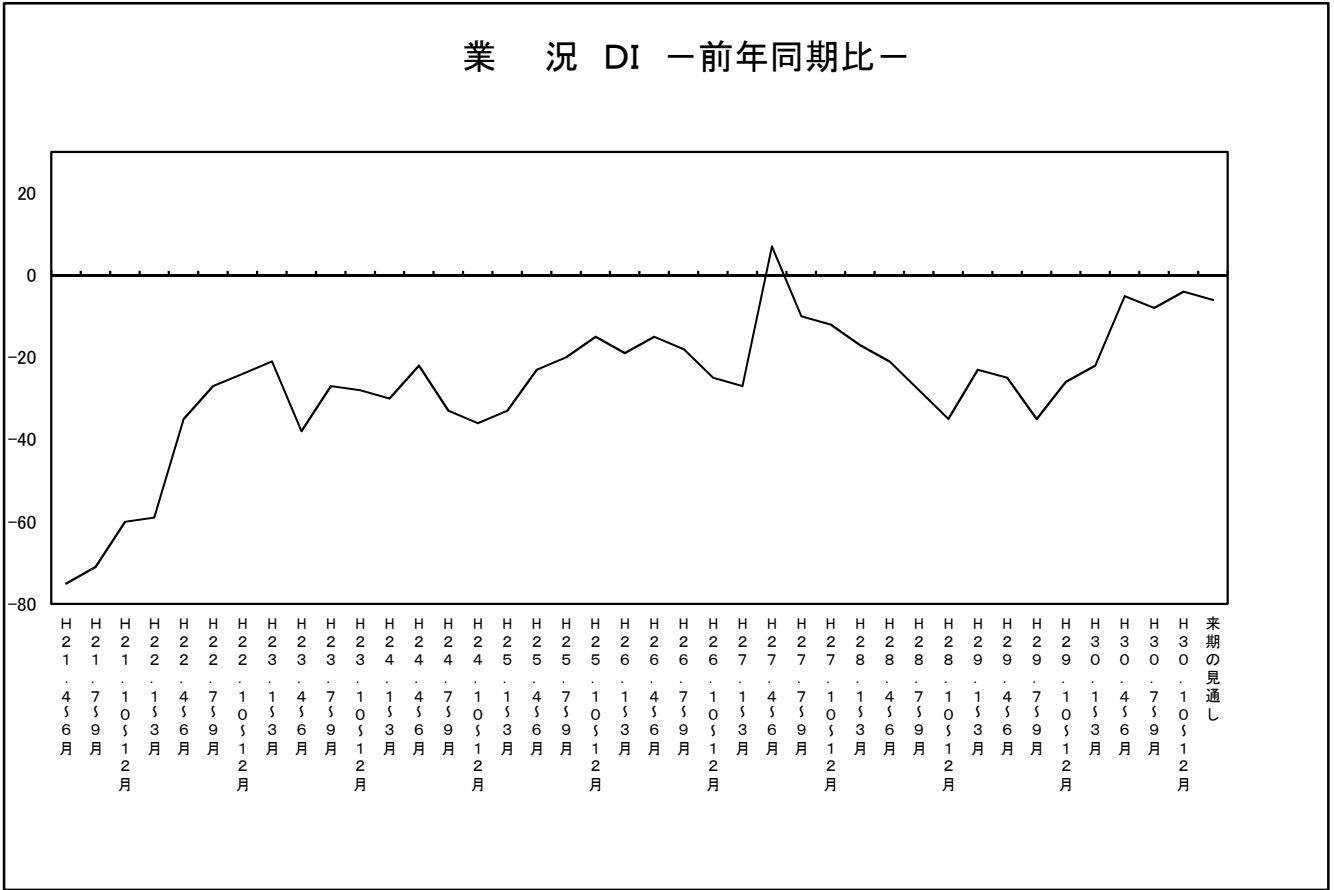
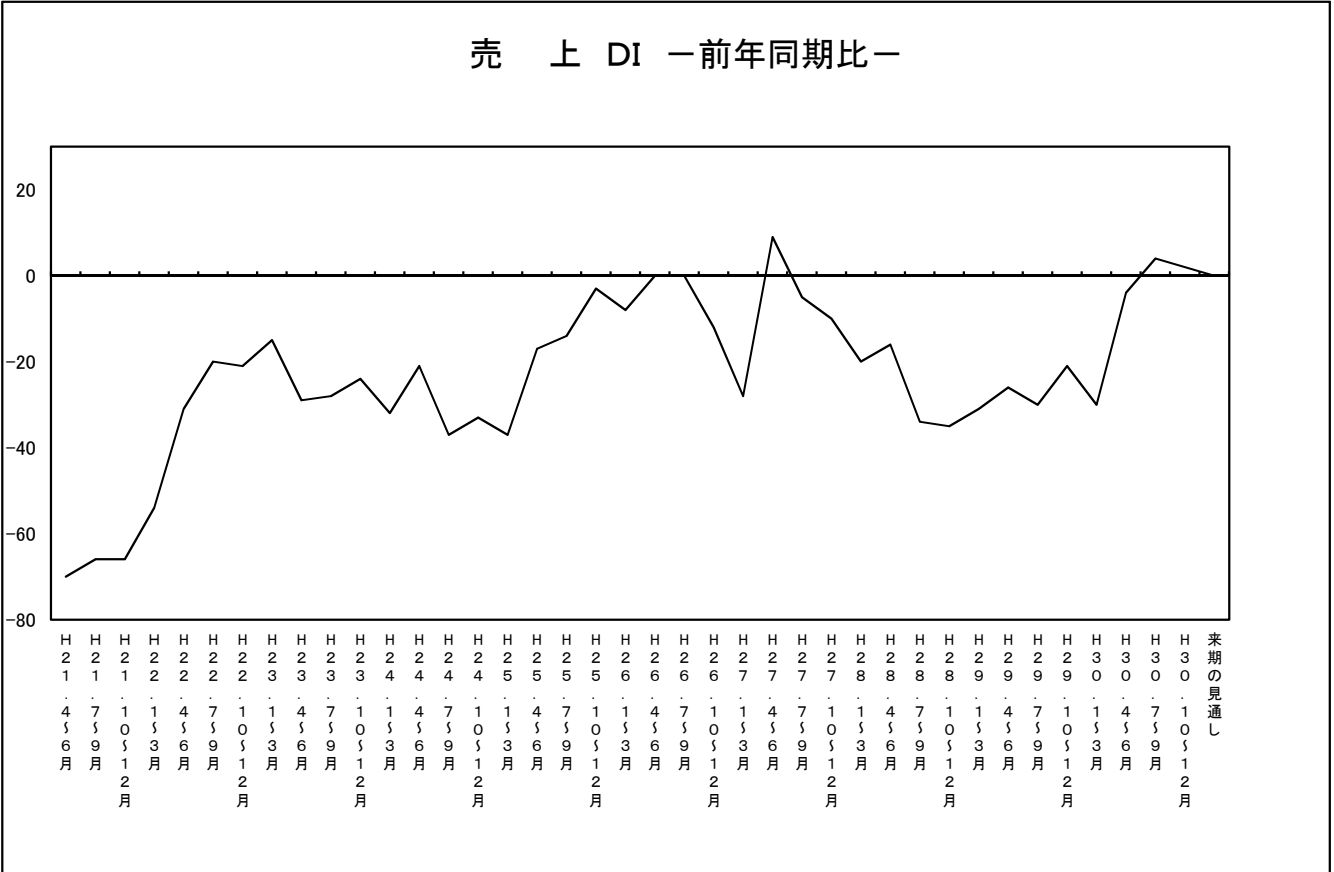
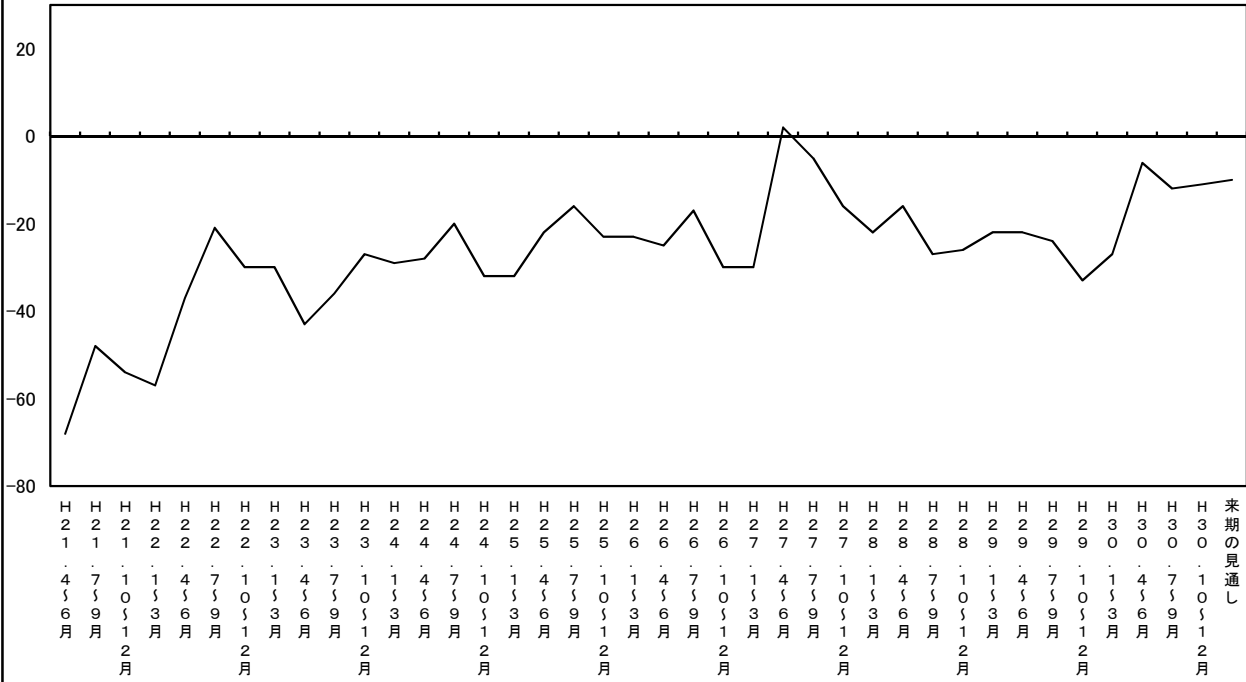


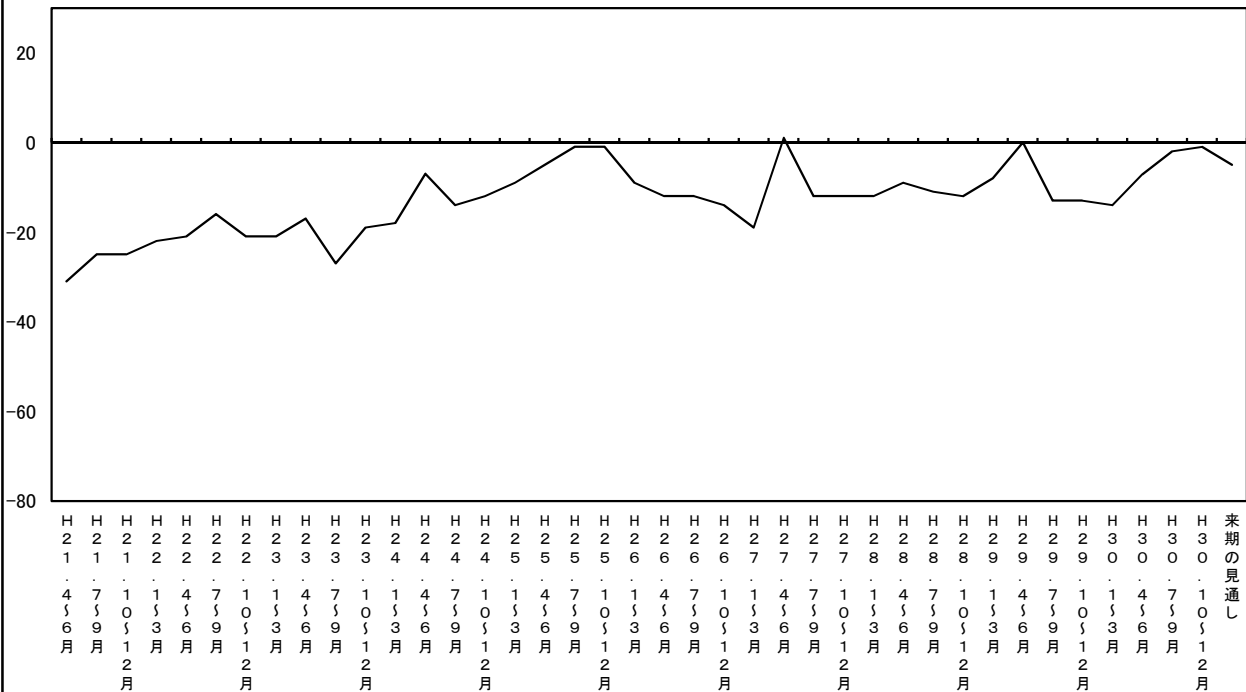
図 3



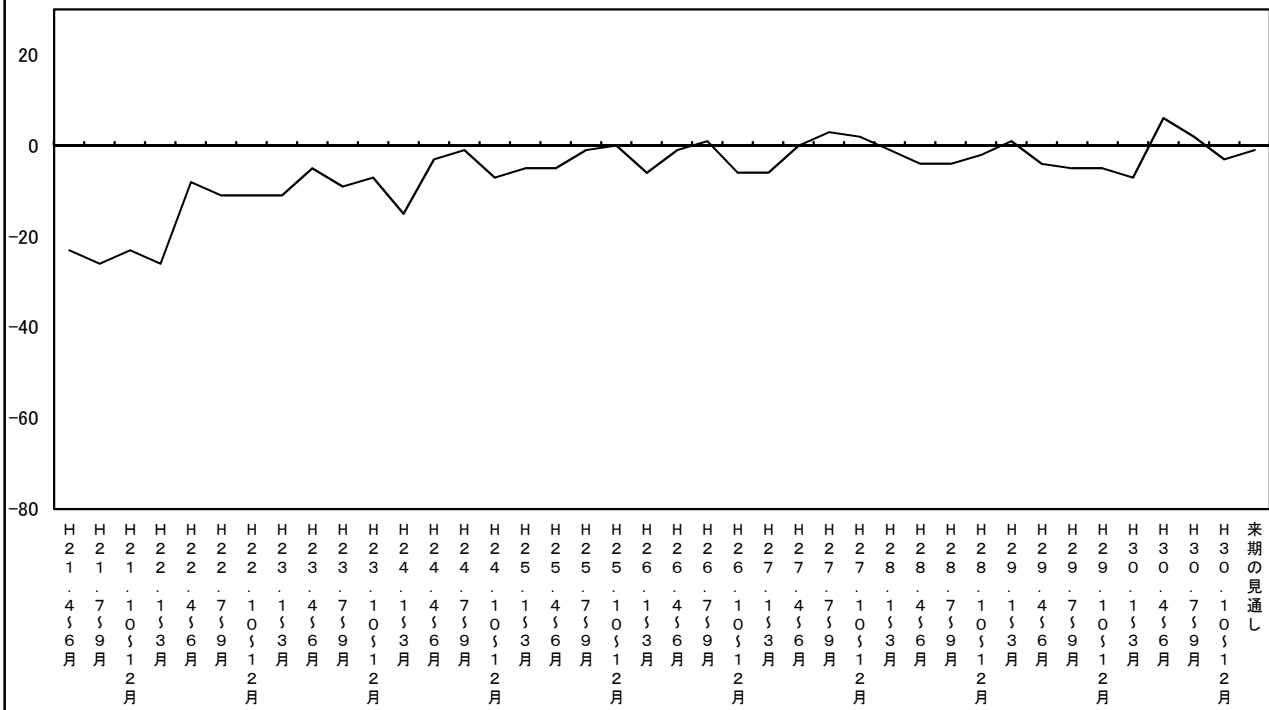
採 算 DI -前年同期比-



資金繰り DI -前年同期比-



従業員 DI —前年同期比—





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp